

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社DNP生活空間	事業所名	東京工場				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。改良トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量実績を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、期ごとに実施されているマネジメントレビューで報告し、課題の抽出を実施。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	定例打合せを設け情報・改善に向けた協議・改善実施			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	業者選定時にISO14001取得有無を確認し、未取得の場合は取得の推奨			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	各倉庫拠点適地在庫化を推進し配送距離を削減、効率化実施			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	専用梱包資材活用により段積み化を図り積載率を向上			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	路線業者を優先とし混載便の利用率を向上			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 （03） 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	運送手配の際の荷主・手配業者との情報連携を継続維持	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 （01） 発注時間及び配送時間のルール化	得意先毎に出荷指示締め時間を設定し、適切な配送を実施	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 （02） 道路混雑時の輸配送の見直し	迂回ルート選択の拡大と配達日時の見直し	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 （03） 輸送車両の待ち時間の削減	トラック待機時間の日々管理実施	○	○	○
06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 （ ）	各倉庫拠点適地在庫化を推進し配送距離を削減、効率化実施	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 （01） 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車（以下、「低燃費車等」）の利用要請	ドライブレコーダー車載システムを活用した輸送トラックへエネルギー監視	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 （02） 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	ドライブレコーダー車載システムを活用したエコドライブ状況確認	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>ドライブレコーダー車載システムを活用したアイドリング時間数値化</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>貨物輸送事業者への指導推進</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進</p> <p>()</p>	<p>現在、北海道・北九州地区のトラック長距離輸送において鉄道によるモーダルシフトを実施。輸送専門グループ会社と協働し鉄道輸送の拡大を促進する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減</p> <p>()</p>	<p>効率的な自動配車の検討。フォークリフトオペレーターの情報のデジタル化・清流化においてタブレット端末導入を計画しているため、予約システム等の導入計画も視野に入れ待機時間の削減を推進する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>